

チームエッフェガーラ

津村 知明

レースレポート

2010年9月12日

IMPカートレース第5戦

SSクラス(参加7台)

CIRCUIT : 井頭モーターパーク

フレーム : birel RX31SE

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : BS SL07

エンジニア: 加藤 真(レーシングサービス エッフェガーラ)

メカニック: 月岡 雅隆(チーム エッフェガーラ)

◆レース結果

TT 2位 (31.086)

予選① 6位

予選② 2位

決勝 2位

◆シリーズランキング

2位 (68ポイント)



レースに向けて

ここ数戦、ペースは良いがポシャルレースが続いているので
まずは完走したいと思いレースに挑みました。
8/1以来 約1ヶ月半振りのレースになるので、
まずはレースを楽しもうかと思えます^^

公式・TT

前日夜に雨が降ったので 朝一はとてもスリッピー路面。
公式ではなかなかタイムが上げられずトップより0.2秒遅れ。
続くTTでは、公式の悪かったところを修正できて0.3秒TIME UPL
2番手で終える。
一方、川口選手いつもならドーンと来るはずなのにどうした??

予選①、②

予選①、スタート直後の3コーナーでトップに浮上。一気に引き離そうとしたが、ペースが上がらず。
そうこうしている内に、3コーナーでハーフスピン状態のマシンの来客もありクラッシュ。
マシンは大破し、ピットインを余儀なくされ後方に沈んでしまう。
マシン修理が間に合い、気を取り直して予選②に挑む。
優勝を狙うにはできる限り前からスタートしたい。ならば予選②で追い上げるしかなかった。
しかし、スタートで大きく出遅れ2位から5位まで順位を下げてしまった。
その後、一台ずつ抜いていき何とかポジション2番手まで上げる事に成功。

決勝

予選では色々あったが、決勝は3番手からのスタートとなった。この位置からなら何とかなる。
ポールスタートはバーミヤン。決勝20LAPの内に仕留めなければならない相手だ。
スタートではインの特権を生かし2番に浮上。バーミヤンの背後にピタリとついてレースが進む。
ペースは良いので付いて走るのは楽だったが、どのタイミングで仕留めるか・・・
一度トップに立ったもののその後の処理が悪く直ぐに抜きかえれてします。
この課題がまだ克服されていない。
終始背後にピタリと張り付いているが、なかなか隙を見せない。まさに緊迫したレースでした。
結局最終ラップを向かえ最後に一発逆転を狙いたかったが、あと一歩及ばず 2位でレースを終えた

レースを終えて

予選ではバタバタあったものの、冷静に対処しレースが進められたと思います。
決勝では結局抜けずに2位で終りましたが、やるべき課題は明確なので必ず克服して
次戦モチギでは勝利したいと思います。
加藤代表をはじめ、メカニックの月岡さん、息子の練習よりも応援/DVD撮影して下さった小曾戸さん、
立木ファミリー、そしてファンの皆さま方応援どうもありがとう御座いました。